

2024年3月期

決算補足説明資料

2024年5月13日

証券コード:3741

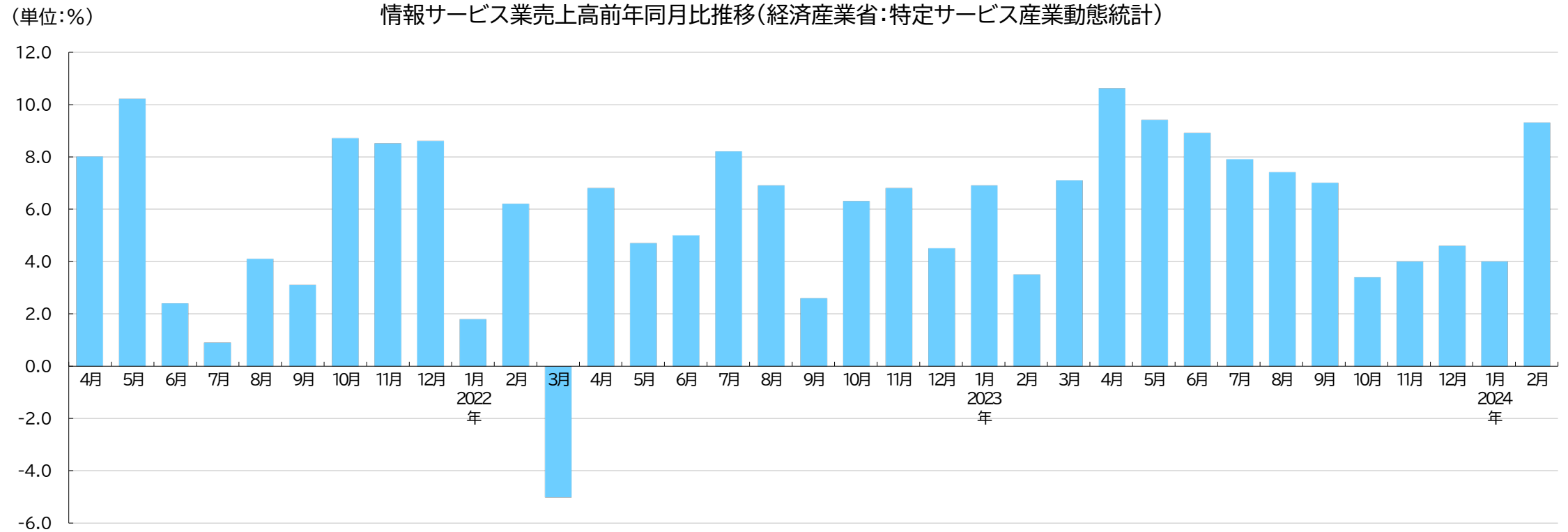


2024年3月期

決算概要

事業環境

IT需要は全体的には概ね堅調と推察される



- 2023年4月以降の月別売上高は前年同月比で増加

2024年3月期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高、
前期比で増収増益

	当期（百万円）	前期比	利益率
売上高	8,534	+14.0%	
営業利益	1,467	+20.7%	17.2%
経常利益	1,547	+21.1%	18.1%
当期純利益	1,105	+25.8%	

受注高、受注残高ともに過去最高

	当期（百万円）	前期比
受注高	10,541	+30.9%
受注残高	5,769	+53.3%

先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

サービスロボット関連やスマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加したことに加え、官公庁向けの開発も引き続き好調であるなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、増収増益となった。

受注高は前期を上回り過去最高となり、受注残高も過去最高となった。

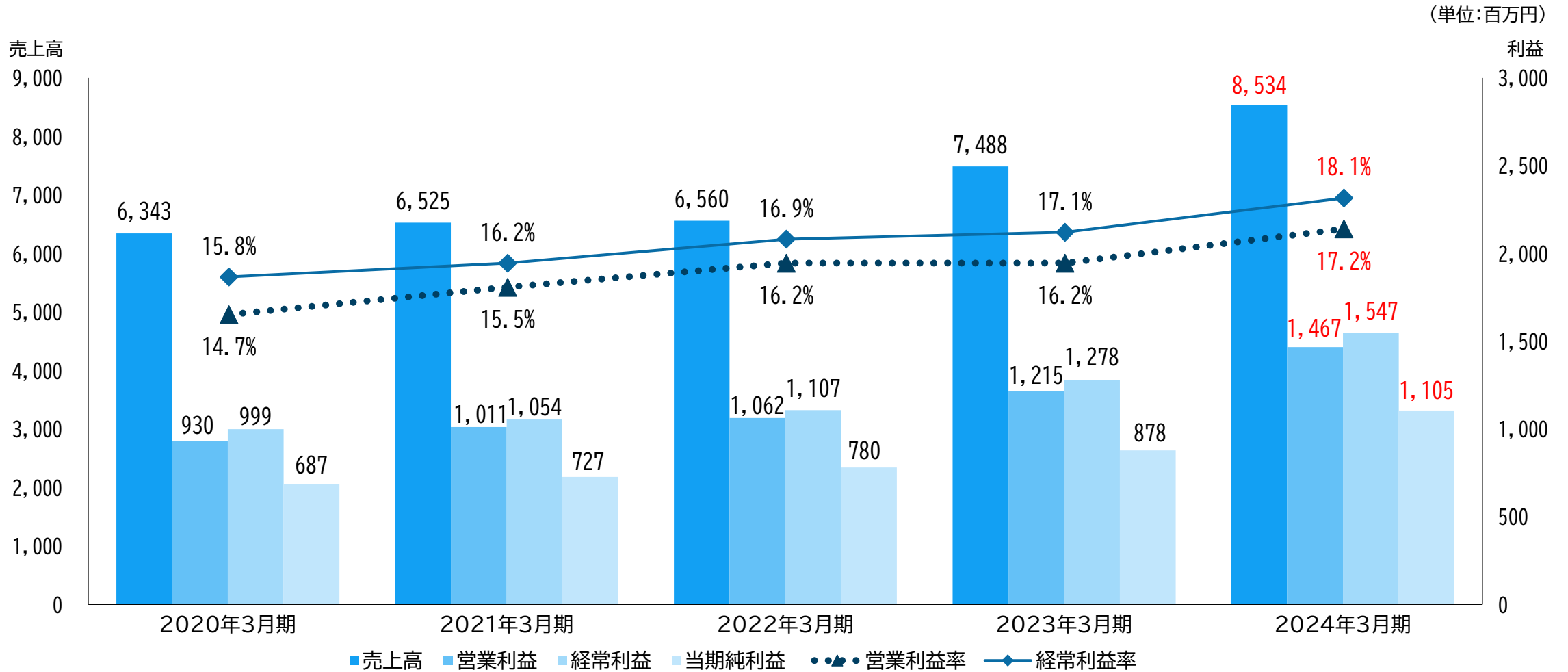
損益計算書

	2023年3月期 (百万円)	2024年3月期 (百万円)	前期比 (%)	修正予想(11月) (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	7,488	8,534	114.0	8,150	104.7
売上原価	5,246	5,983	114.0	5,720	104.6
売上総利益	2,241	2,550	113.8	2,430	105.0
販売管理費	1,026	1,083	105.6	1,030	105.2
営業利益 (営業利益率)	1,215 (16.2%)	1,467 (17.2%)	120.7	1,400 (17.2%)	104.8
経常利益 (経常利益率)	1,278 (17.1%)	1,547 (18.1%)	121.1	1,460 (17.9%)	106.0
当期純利益	878	1,105	125.8	1,010	109.4

- 売上原価** 外注費が大幅に増加(外注費28.9億円、前期比23.1%増/売上高外注比率33.9%、前期31.4%)、社員数の増加、ベースアップなどにより人件費が増加
- 販売管理費** 社員数の増加、ベースアップなどにより労務費が増加、研究開発費は100百万円で、前期比で51.2%増
- 営業外損益** 研究開発の補助金収入が大幅に増加(33百万円、前期比262.7%増)
- 当期純利益** 賃上げ促進税制の適用による税額控除で法人税等負担率が低下(法定実効税率30.62%に対し、法人税等負担率28.59%)

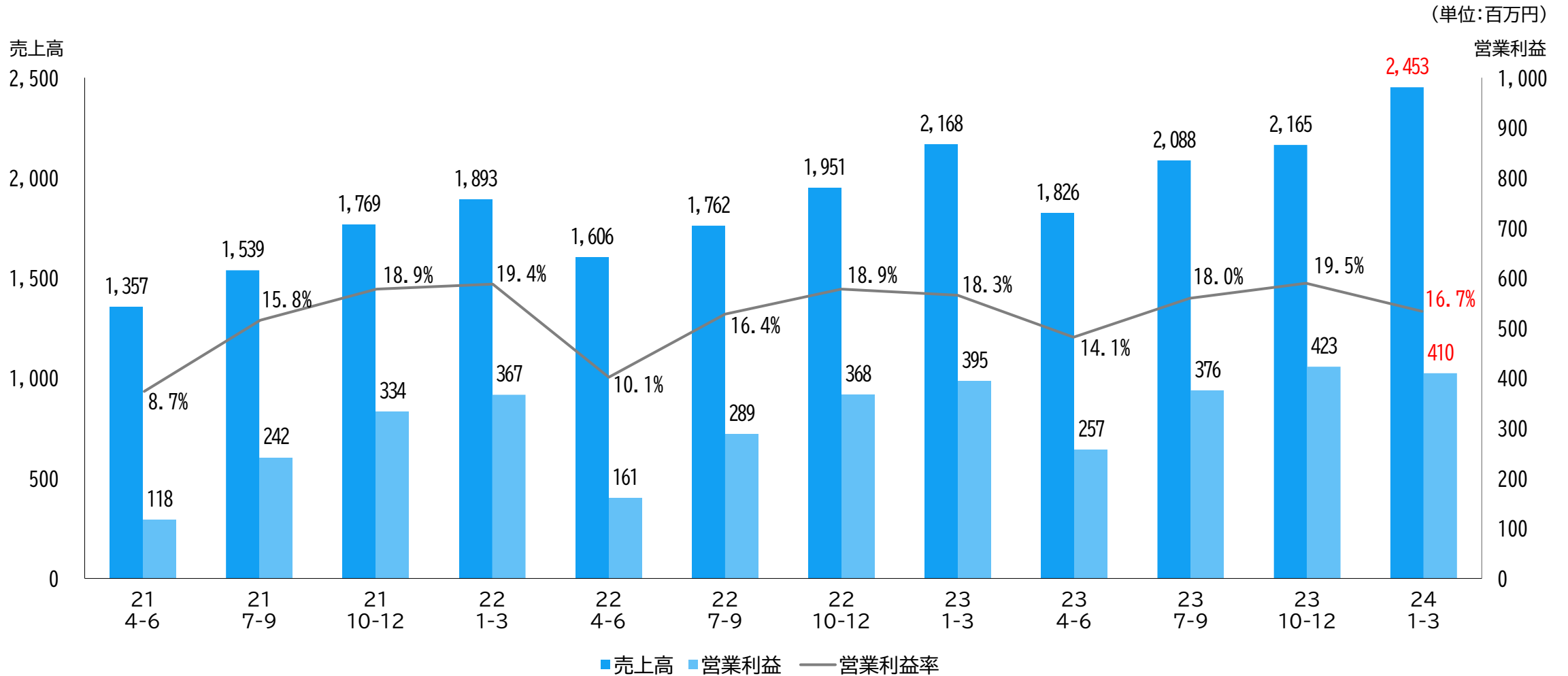
決算業績推移(過去5年)

7期連続の増収増益で、売上高、利益ともに過去最高



四半期業績推移(PL)

2021年度第3四半期から、10四半期連続の増収増益

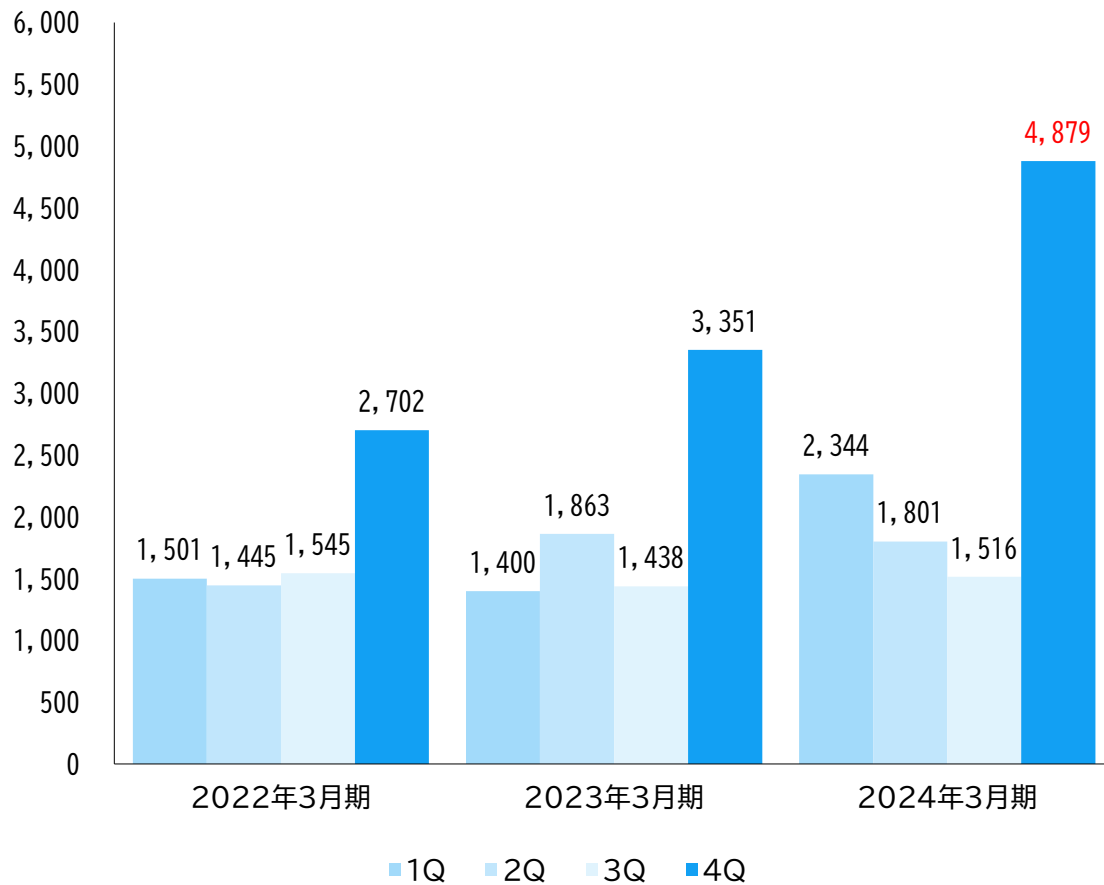


四半期業績推移(受注状況)

受注高は第1、第4四半期で過去最高、受注残高は全ての四半期で過去最高

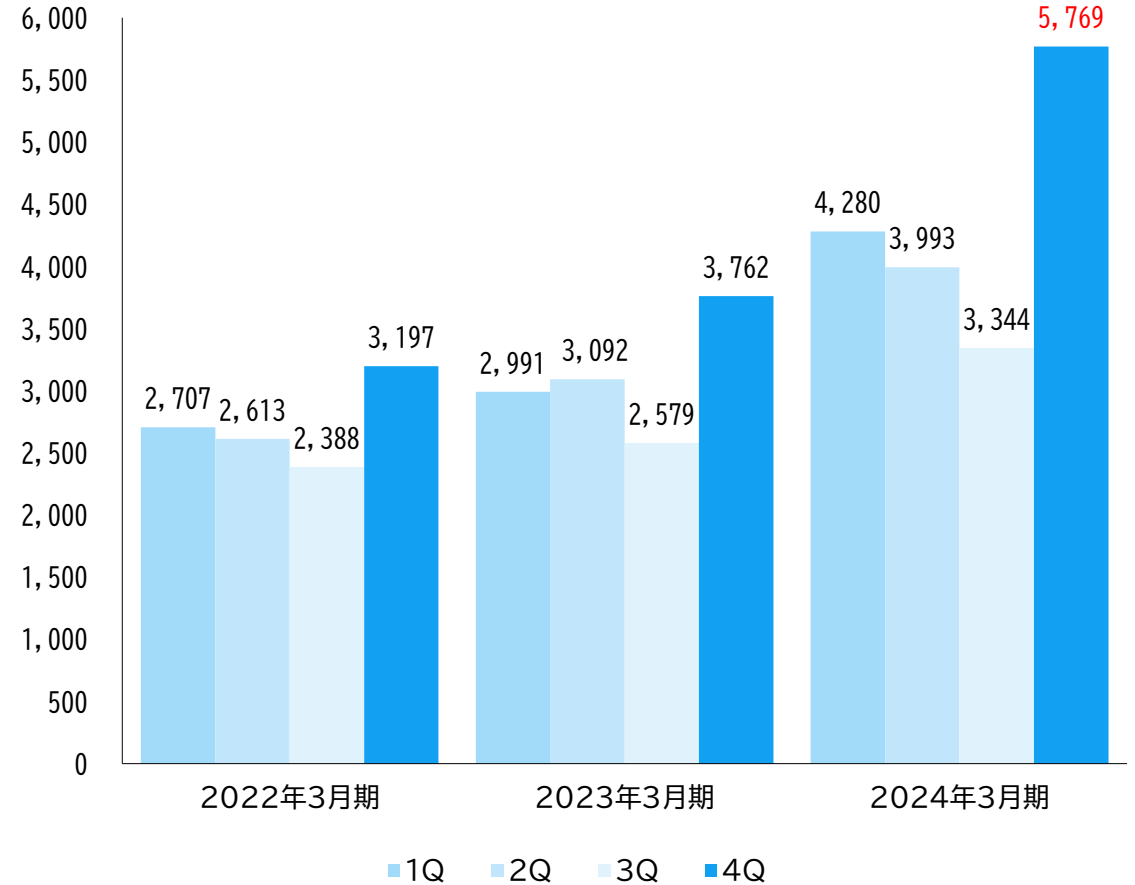
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高



BF別の状況

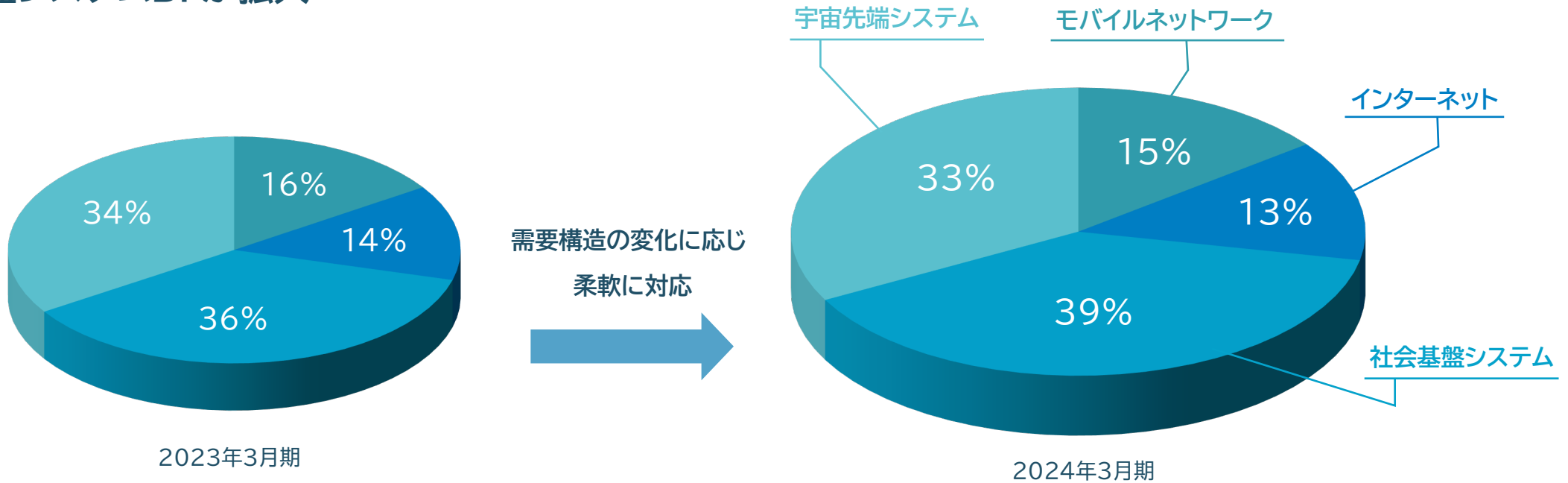
社会基盤システムBF、インターネットBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2023年3月期		2024年3月期		前期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
モバイルネットワーク	1,173	15.7	1,248	14.6	106.4
インターネット	1,017	13.6	1,155	13.5	113.5
社会基盤システム	2,737	36.5	3,325	39.0	121.5
宇宙先端システム	2,560	34.2	2,804	32.9	109.6
合計	7,488	100.0	8,534	100.0	114.0

- モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加
- インターネットBFは、民間企業向けの開発が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調
- 宇宙先端システムBFは、宇宙関連の開発が堅調であることに加え、サービスロボット関連の開発が大幅に増加

BF別売上構成比

社会基盤システムBFが拡大



モバイルネットワークBF ↓

スマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加し、BFの売上高は増加したが、全体構成比では減少

インターネットBF ↓

民間企業向けの開発が増加し、BFの売上高は増加したが、全体構成比では減少

社会基盤システムBF ↑

環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調

宇宙先端システムBF ↓

宇宙関連の開発が堅調であることに加え、サービスロボット関連の開発が大幅に増加し、BFの売上高は増加したが、全体構成比では減少

BF別受注状況

社会基盤システムBF、インターネットBF、宇宙先端システムBFの受注が大幅に増加

ビジネスフィールド	2023年3月期		2024年3月期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前期比 (%)	受注残高 (百万円)	前期比 (%)
モバイルネットワーク	1,213	285	1,197	98.7	234	82.1
インターネット	970	243	1,235	127.4	323	132.9
社会基盤システム	3,351	2,618	5,030	150.1	4,323	165.1
宇宙先端システム	2,519	615	3,077	122.2	888	144.3
合計	8,053	3,762	10,541	130.9	5,769	153.3

(受注残高のうち、今期の売上高に貢献するのは4,443百万円、前年同期(3,191百万円)と比較し39.2%の増加)

- モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の受注が増加したが、XR(クロスリアリティ)サービス関連の受注が減少
- インターネットBFは、民間企業向けの大型の開発やDX関連の受注が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの受注が増加
- 宇宙先端システムBFは、サービスロボットや宇宙関連の受注が増加

2025年3月期

通期業績見通し

2025年3月期業績見通し

継続的な成長を目指し、売上高、利益ともに増加の計画

	2024年3月期実績(百万円)	2025年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	8,534	9,200	107.8
売上原価	5,983	6,390	106.8
売上総利益	2,550	2,810	110.2
販売管理費	1,083	1,240	114.4
営業利益 (営業利益率)	1,467 (17.2%)	1,570 (17.1%)	107.0
経常利益 (経常利益率)	1,547 (18.1%)	1,650 (17.9%)	106.6
当期純利益	1,105	1,145	103.6

売上高 前期と同様の需要環境を見込み、官公庁主体の社会基盤分野のビジネスを中心に推進し、前期比約8%増を見込む

売上原価 社員数増加や待遇向上による人件費の増加、外注費の増加などにより、増加を見込む





販売管理費 研究開発の増加などにより、増加を見込む

営業外損益 前期並みを見込む

当期純利益 前期は賃上げ促進税制の適用により増加したが、今期は税金費用を法定実効税率どおりで計算

2025年3月期BF別業績見通し

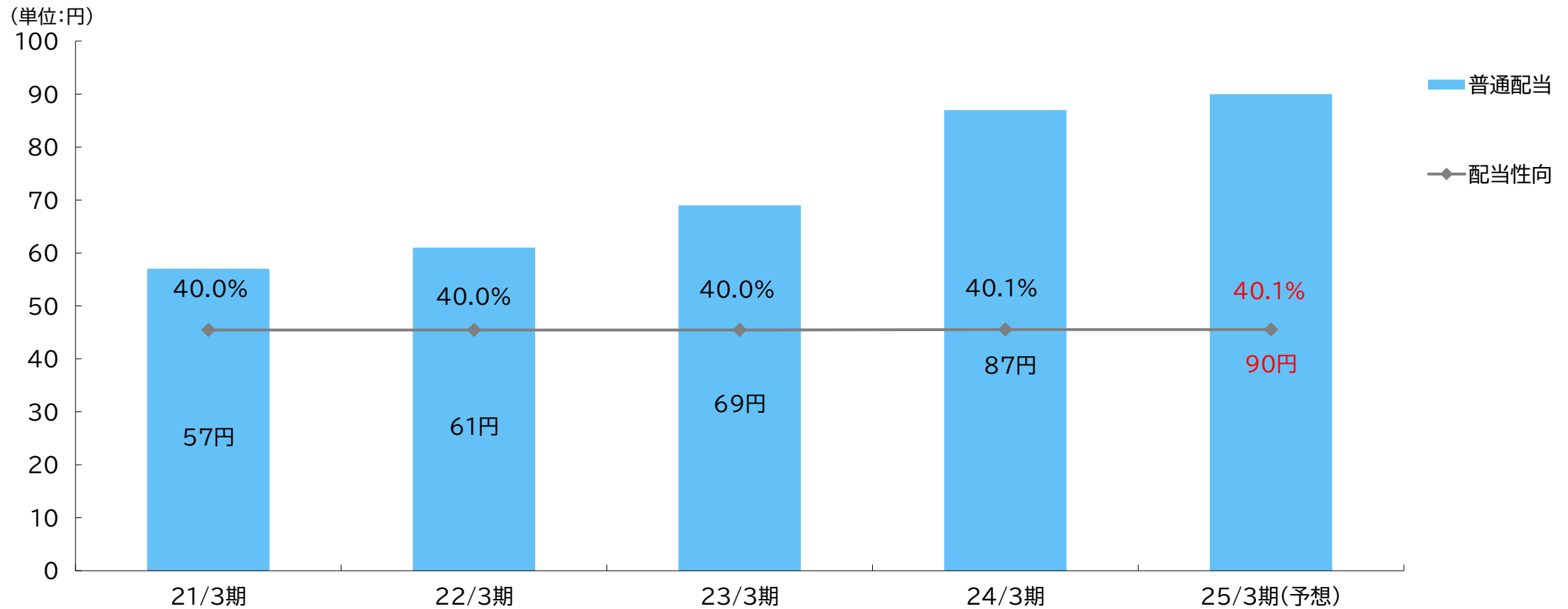
社会基盤システムBF、宇宙先端システムBFが増加する見込み

ビジネスフィールド	期初の想定	予想
モバイルネットワーク	スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少し、微減	
インターネット	民間企業向けのDX案件が継続するものの、他のBFとの人員配分の最適化により、前期並み	
社会基盤システム	環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調で、増加	
宇宙先端システム	サービスロボット関連の研究開発案件や宇宙関連の開発が堅調に推移し、増加	

配当の方針

配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2025年3月期は、1株当たり90円の配当予想とする。



ご参考: ニュースリリース一覧(2023年12月~2024年4月)

2023年		2月19日	<u>当社が支援しているアストロスケールの商業デブリ除去実証衛星「ADRAS-J」の打ち上げが成功</u>
12月 5日	ラジオNIKKEI「ザ・マネー」に代表取締役社長 櫻井が出演	2月20日	日本証券新聞社主催のIRセミナー(名古屋)にて会社説明会を開催
12月13日	<u>情報サービス産業協会ソフトウェアイノベーションシンポジウムにて「高速機械学習器による現場での故障予知」について発表</u>	2月27日	<u>International Symposium on Neuromorphic AI Hardwareにてレザバーコンピューティングに関する研究発表</u>
12月16日	ラジオNIKKEI & プロネクサス共催「企業IR & 個人投資家応援イベント」(東京)にて企業IRセミナーを開催	3月 5日	<u>ACRiウェビナー(2024年3月8日開催)にて FPGAでのレザバーコンピューティングの活用について技術解説</u>
12月21日	<u>【共同研究】大阪大学に設置した超電導量子コンピュータ国産3号機のクラウドサービスを開始</u>	3月11日	<u>国際宇宙ステーション(ISS)内積載物の運搬・操作ロボットシステム「PORTRS」のISS実証用システムの開発の契約先に選定</u>
2024年		3月11日	<u>健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定</u>
1月18日	<u>ロボデックス(ロボット開発・活用展)に出展</u>	3月21日	<u>第5回「きぼう」ロボットプログラミングチャレンジ(Kibo-RPC)に協賛</u>
1月25日	<u>当社がソフトウェアの開発に協力した変形型月面ロボットLEV-2(愛称: SORA-Q)が、小型月着陸実証機「SLIM」の画像撮影に成功</u>	4月 9日	<u>令和6年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞(理解増進部門)」を受賞</u>
2月 5日	<u>JAXA運用中の宇宙機を対象とした故障予兆検知の実証評価に協力</u>	4月30日	<u>日経CNBC「トップに聞く」に代表取締役社長 櫻井が出演</u>
2月 6日	<u>一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構主催のエンジニア選手権、CoRE(The Championship of Robotics Engineers)に参加(2024年3月23日~24日開催)</u>		

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものではなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。